

発行日／平成 27 年 3 月 1 日

発行所／公益社団法人大阪府建築士会

540-0012 大阪市中央区谷町 3-1-17

#### 岡本会長の主な動静

- 1/31 近畿建築祭「兵庫大会」
- 2/4 第 2 回役員候補者推薦委員会
- 6 廣瀬愛知会長黄綬褒章祝賀会
- 12 近畿建築士会協議会
- 13 運営委員会
- 14 滋賀ヘリテージマネージャー修了式
- 18 正副会長会議、理事会

#### 近畿建築士会協議会

##### あべのハルカスにおいて 近畿建築士会協議会を開催

近畿 6 府県の建築士会で結成する近畿建築士会協議会を 2 月 12 日に「あべのハルカス」で開催しました。

会議は、近畿 6 士会会長をはじめ、日本建築士会連合会の三井所会長、山中副会長も出席され、情報交換、収支報告、近畿建築祭兵庫大会の報告や、次回、開山 1200 年の高野山で開催される和歌山大会などを議事として行われました。会議終了後、原田哲夫氏(竹中工務店設計第 6 部長)による「あべのハルカスの設計」に関する特別講義を聴講させていただき、60 階の展望台に上り、地上 300m からの大阪の景色を楽しみました。



連合会・三井所清典  
大阪・岡本森廣/滋賀・山本勝義  
京都・衛藤照夫/兵庫・高橋伸明  
奈良・洲上徳光/和歌山・池内茂雄  
(各会会長名・敬称略)



#### 運営委員会

##### 平成 27 年度

##### 理事及び監事候補者の推薦

本会の理事は任期 2 年間で、毎年約半数の改選を行っています。1 月 13 日及び 2 月 4 日に、次期の新任理事及び監事候補者を推薦する選考委員会を開催しました。委員会では、公益社団法人の役員としての資質を備えると共に、会員の声を運営に反映できるよう、幅広い建築専門分野からの選出等を選任の基準として、会長及び委員会から推薦を受けた 31 名の正会員を対象に選考が進められました。その結果、理事 25 名、監事 1 名の候補者を選任し、2 月度理事会の承認を経て、5 月の定時総会で新任の理事・監事を決議していただく予定です。

#### 運営委員会

##### 平成 26 年建築士登録状況

本会は大阪府指定登録機関として、二級・木造建築士の登録・閲覧等の業務及び、国の指定登録機関である日本建築士連合会からの受託により一級建築士の登録・閲覧等の業務を行っています。平成 26 年度の一級建築士試験の大阪の合格者 299 名に対し 244 名、二級建築士試験の合格者 405 名に対し 300 名、木造建築士試験の合格者 26 名に対し 14 名の方が 2 月 15 日現在で登録申請されています。

#### 建築表彰委員会

##### 大阪建築コンクール基金創設

本会主催の大阪建築コンクールは、昭和 29 年に設立された伝統と実績のある建築賞で、特に 40 歳未満の設計者を対象とした渡辺節賞は、若手建築士の登竜門として広く建築界に浸透しています。現在、予算の関係から隔年の実施としている本コンクールの安定的な実施を確保することを目的として、「大阪建築コンク

ール基金」を創設することが 1 月度理事会で承認されました。

基金は、期間を限定せず継続的に建築士をはじめ建築関連企業等に対して幅広く寄附又は協賛を募り、基金に積み立ててコンクールに必要な経費を確保するものです。

今後、HP、会報誌等でご案内いたしますのでご協力をお願い致します。

#### 建築表彰委員会

##### 平成 26 年度優秀卒業生表彰 に 15 名が決定

建築関連学校優秀卒業生表彰制度は、建築業界の将来を担う優秀な学生を本会が表彰し、卒業後の励みとしてより一層の精進を期待することを目的に昨年度から実施しています。

今年度の優秀卒業生表彰者は、大阪大学、大阪市立大学、大阪工業大学など 7 大学 10 学科の卒業生及び、修成建設専門学校、中央工学校など 3 専門学校 5 学科の卒業生合計 15 名です。今後、各校の 3 月の卒業式典等で、本会役員が表彰状を授与する予定です。

#### 社会貢献委員会

##### ヘリテージマネージャー協議会 発足

ヘリテージマネージャーは、歴史文化遺産を発掘し、その保全と活用に携わる専門家です。

地域社会における歴史文化遺産のあり方を見据え、その保全と活用を推進するヘリテージマネージャーを育成し、その活動のための情報集積・公開及び連絡・協議活動することを目的として、本会の社会貢献委員会内にヘリテージマネージャー協議会を設置しました。

協議会の会員は、本会が主催する「大阪府ヘリテージマネージャー育成講座」の受講修了者としており、今後、行政や文化財関係団体等との連携によるヘリテージ活動が期待されます。

\* 動静レポートは、本会諸活動等の進捗を会員の皆様に詳しくお伝えするものです。

## 近畿建築祭に参加して

日時 平成 27 年 1 月 31 日(土) 10:30~19:30  
会場 神戸市産業振興センター

田中義久(本会副会長)

近畿建築祭は近畿 2 府 4 県の建築士会会員が一堂に会して交流する会で、今年度は兵庫士会運営で、1 月 31 日神戸市産業振興センターに於いて開催されました。まず、兵庫県立大学・防災教育センター長の室崎益輝氏の基調講演をベースに 5 セッションに分かれて、その内容を深めていくという企画趣旨で行われたのです。

私は第 2 セッションの「北野・山本地区の景観まちづくりを学ぶ」に参加いたしました。この辺りは阪神大震災の深刻な被害はなかったものの訪れる観光客も減少しているようです。

まず約一時間かけて現地を見学しましたが、歴史的景観地区内の景観は独特の魅力を感じられ、減少したとはいえ、観光的にはまだまだ健在であるようにみえました。ただし、景観地区指

定の境界線上では右と左でガラッと雰囲気が変わりすぎて、どうしても印象がマイナス方向に引きずられてしまいます。だから、区分けを線で行うのではなく帯状の緩衝帯とすることで、徐々に雰囲気を変えるような工夫があればなお良いと思いました。

そののち、兵庫士会がこの一年をかけて行ってきた「景観まちづくり人材育成プログラム」に参加された方々のこの地域での景観への取り組みの最終発表を見学することができました。具体的には「維持管理」という視点から考察し、①緑のまちづくり②看板サインのあり方③(建て替えの際の)新しい建物のデザインのあり方という 3 点に立脚して集約された内容での発表でした。

発表者は建築士だけでなく この地域のビルオーナーもおり、「景観のレベ

ルを守ること」と「簡易に便利に住まうこと」との背反する考えにどのように折合をつけるかという悩みの声も聞かれました。景観を守ることは、そこで生きる方々の絶え間ない「工夫と努力とあきらめ」の繰り返しの中で生まれものであることが実感でき、ある種の感動を共有することができました。

〈北野工場のまち〉



## NHK 大河ドラマ「真田丸」放映に伴う長野県建築士会と大阪府建築士会の交流

期間 平成 27 年 1 月 16 日(土)~平成 27 年 1 月 17 日(土) 全 2 日間  
会場 長野県上田市「ささや」ほか

水谷 敢(事業委員会委員長)

平成 28 年の NHK 大河ドラマが「真田丸」(脚本三谷幸喜・主演堺雅人)に決定したことから、真田家発祥の地である長野県建築士会から、真田幸村が大坂冬・夏の陣で終焉の地となった大阪府建築士会に、建築や歴史文化を通じた交流を行いたいとの申出があります。

この程、長野県建築士会主催の真田幸村に関する講演会が上田市で行われ、本会の濱田副会長、室木青年委員と伴に 3 人が大阪士会の代表として出席し、今後の相互交流について意見交換を行いました。

講演会では、小説「真田太平記」の作者・池波正太郎氏から取材を受けた茶人でもある益子輝之氏による「真田氏一嘘と実一」を興味深く聞かせていただきました。

真田家の発祥地である上田市は、歴

史的な町並みや多くの文化財を有することから信州の鎌倉と呼ばれ、大河ドラマが決まって町興しの機運が高まり、大変盛り上がっている様子でした。上田市では、別所温泉に位置する登録有形文化財の宿「花屋」に長野県建築士会の関会長・有賀副会長などと共に宿泊させていただき、大阪士会との今後の交流内容や建築談義に花が咲き、夜中になるまで懇親を深めました。翌日は国宝八角三重の塔などを見学して、街の風情を楽しみました。

大阪の幸村ゆかりの地は、大阪城や「真田丸」のあったとされる空堀町、また、今年の夏に開山 1200 年の高野山で開催される近畿建築祭和歌山大会の高野山の下九度山は、幸村が冬の陣まで住んでいた場所です。

この機会に会員の皆さんも「真田幸村」について勉強されてみてはいかがでしょうか。

でしょうか。

本会の青年分科会では、長野県内の名建築をめぐるツアーを現在企画中であり、長野県建築士会と協同することで企画内容の充実が期待されます。事業委員会では、両会の会員が、お互いの歴史文化や建築等を紹介し交流できる事業を今後企画したいと考えておりますのでご期待ください。

〈真田甲冑「六文銭」上田駅にて〉

